

学生たちへ。

至学館大のキャンパスの桜の木々。花をつけ始めるのは
1本だけに行りました。君達のいたキャンパスで
働けるから、今年の桜を見てもらえなかったこと、
君たちの笑顔を見ることができず、君たちの笑い声の
学長室にいくも聞えなかったこと。こんなに辛い春は初めて
です。

君たち、学生も辛いと不安の気持ちだと思います。
これから授業はどうなるのか、経済的にや、っていくのか、
臨地実習は、就職は、その部活は……。
辛い思いをさせようとする。勝手に決めようとする。
そして今、私自身今後どうやっていくのか、前か
見えない状態で、君たちの現状を考えると、溢れる
悔しさと申し訳ない気持ちが痛いです。

だから至学館は学生も教職員もあきらめず
チャレンジして。とてつとてでも君たちの教育と
未来を守ります。それだけは何とでもいえると思っ
てください。どこまでいけるか先は見えないけど、大卒の
学生生活、卒業する日に「これでよかった」と君たちが
思えるよう力を尽くします。これは約束です。

大学には「20+対策4-U」と「遠隔授業対策4-U」をつくりました。

特に、不安 感染問題で不安だと、心配なところがあったら、大学に連絡してください。医師たちの20+対策4-Uを中心に大学と122532とは何かもあります。真剣に気をつけて、2.2も感染にける人から出るかもしれない。その時は、大学全体でその人を守ります。

「遠隔授業対策4-U」のメール、郵便、そしてネットを通じて君たちの教育を推進していくための準備も猛烈なガツカニ的スピードでやっています。既に皆さんのところにも課題が解かっていると思いますし、実験的のネット授業も開始されています。もちろん本格的に始められます。だから皆さんには、受信のためのネット環境を各自で整えてもらうために一人5万円支給します。人によって今ある環境も必要なものも違うと思うので、お金が配ります。パソコンを解除していくためには、WiFiのために、あるいはタブレットやノートパソコン、その関連材料費など、必要なものも各自で判断してそのために使うことができます。

その中で、もちろんネットやメールだけで大学生活も十分に過ごせるはずですよ。対策授業だから、皆さんの

キコニパスに集うからで、予予をいっけい。また
至学館とて人が人を刺激し合ひ、人と人か其に
学の成長する場だから、そんなキコニパス生活は
絶対と戻戻たてたりません。

他の教職員たちと共に、早く皆がキコニパスに
戻ってくることを祈ります。あらゆる努力をします。
国の政策決定者たちに訴え、納得するまで命令
者をつく限りのことをやり続けます。

だから、君達も準備をおこなう待つていなくして
一人の家ごやが負か強やトレーニングは早くしたい
思うけど、この状態は長く続くはずだから
かえりかえらう。

すくには全面的に元に戻るとは思いません。
君達が来たりするにたつても少しづつと思えます。
段階的に大学を開くというところを考えると
います。本当はもっと具体的に言いたいです。
政府が今後どうにかかわらうとすることを
言いません。

早くたつたら相談してください。学科の先生、
カンセンのスタッフ、誰かでもかえり直接でも
かえりません。メール・アドレスは

とにかく今は耐えていきたいと思います。我慢はしよう
ウイルス対策、あんな大切なことに負け
たくない！！

また、キャンパスで皆が笑い合うために、躍動
するために、お互いを抱きしめる ~~ために~~ ために
頑張る目か来るために。

今のつらさは私達の精神のタフさを余段之とく
と思ひます。

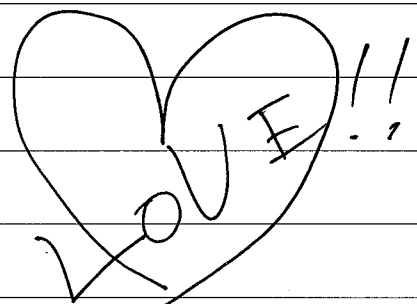
どうか毎日を可能な限り有効に使い、てください。
日々の目からくる、じっくり考える能力、物事の
本質を見抜く力を磨き、二からの人生の生き方を
考えてください。

ヴァーチャルなハグと共に私の好きをこめて
送ります。

「患難は忍耐を生み出し、忍耐は律法を
生み出し、律法は希望を生み出す」

新約聖書 「ローマの手紙」より

君への学書
谷岡郁子



(宛先ごめん)